

学科名	声優・演劇科
コース名	
授業科目	ナレーションⅠ
必選	選
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実技
時間数	60
単位数	2
担当教員	松田佑貴
実務経験	有
実務経験職種	声優
授業概要	ナレーションの表現、技術などの基礎を覚え、それに必要なイントネーション、アクセント、滑舌や発声なども合わせて学習する。 ナレーションにおけるマイク前での発声や距離感を覚える。 この講座を学習することで、ナレーションのいろいろな読みを体験し、出来るようになることを目標とする。
到達目標	ただ原稿を読むのではなく、聞いている人に内容がしっかり伝わり、また楽しんで聞いてもらえるようになること。 そのために必要な豊かな表現や技術を身につける。
授業方法	様々なジャンルのナレーション原稿を使って、表現を学んでいく。同時に、滑舌や発声チェックも行い、特に滑舌に関しては細かくみていく。
成績評価方法	実習 70% ナレーションの実技、表現力 滑舌 20% きちんと喋れるかどうか、喋りの滑らかさ、発音の正しさ 平常点 10% コミュニケーション力、積極性など
履修上の注意	授業態度は厳しく評価する。自分の事だけに目を向けるのではなく問題点、課題は仲間と常にチェックしあえるようなクラスの雰囲気作りが大事である。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	使用するナレーション原稿をその都度配布する。

授業計画	
第1回	ナレーション原稿を使って滑舌、発声などの基礎を学ぶ
第2回	ナレーションの基礎を学ぶ
第3回	テレビのナレーション表現 1
第4回	テレビのナレーション表現 2
第5回	映像に合わせてナレーションを読む 1
第6回	映像に合わせてナレーションを読む 2
第7回	スタジオでナレーションを収録する 1
第8回	スタジオでナレーションを収録する 2
第9回	キャラクターを演じながらナレーションを読む（キャラナレ） 1
第10回	キャラクターを演じながらナレーションを読む（キャラナレ） 2
第11回	朗読からナレーションを学ぶ 1
第12回	朗読からナレーションを学ぶ 2
第13回	朗読からナレーションを学ぶ 3
第14回	テレビのナレーション表現 3
第15回	テレビのナレーション表現 4